

2008（平成20）年度 舞踊学関係修士・博士論文題目一覧

論文題目	氏名	大学院名
修士論文		
・ラングンドゥリヤン・マンクヌガラン —女性たちの舞踊劇—	岡戸 香里	大阪市立大学大学院
・ダンスが育む表現する身体	尾崎 由佳	お茶の水女子大学大学院
・舞踊におけるヌーディティとその表象	国府田はるか	お茶の水女子大学大学院
・ボディワークを採り入れた大学体育の試み	佐藤伊都美	お茶の水女子大学大学院
・立位での体幹屈曲・伸展動作における脊柱可動性の加齢変化	橋本 有子	お茶の水女子大学大学院
・ビデオダンス（videodance）研究 —舞踊に対する新たな価値観—	松岡 綾葉	お茶の水女子大学大学院
・舞踊における創作者の表現内容と鑑賞者の享受内容に関する研究 —創作者（踊り手）と鑑賞者のイメージの比較を中心に—	中神 惟	京都女子大学大学院
・ダンスを現実化させる主体とは<誰>か—リアリティとフィクショナル리티の二元論を越えて	小坂井雅世	神戸大学大学院
・体育におけるインクルーシブダンス授業で観察された社会的相互作用と授業場面との関連性 —知的障がい児の事例について—	岩谷 友洋	島根大学大学院
・競技ダンスにおけるペア・ワークの仕組み —ラテン・ダンス「ルンバ」をとりあげて—	井野 佳子	日本女子体育大学大学院
・演舞時の踊り手の内面と身体・動きの様相についての一考察	鈴木いづみ	日本女子体育大学大学院
・レフ・イワノフ—バレエの19世紀から20世紀への架け橋	渡辺 碧	日本女子体育大学大学院
・日本における舞踊教育について —地域大分県における舞踊の発展と展望—	大村 絃望	日本大学大学院
・「助六由縁江戸桜」の祝祭性をめぐる意識の推移 —歌舞伎近代化に関する一考察—	小野 春香	日本大学大学院
・中学校における「体ほぐしの運動」に関する研究 —「からだ気づき」実習を取り入れた授業カリキュラムの開発—	斎藤 昌子	横浜国立大学大学院
・社交ダンスからみた性と生—制度化されたエロスの交歓	湊 美智子	立命館大学大学院
・バリ舞踊における基本姿勢（モヤンケット）の定着過程	國寶 真美	早稲田大学大学院

論文題目	氏名	大学院名
博士論文		
・創作ダンス学習時における「みること」「みられること」という経験が学習者に与える影響	楠来 祥	大分大学大学院
・コンテンポラリー・ダンスの喜怒哀楽表現に関する研究 —心理学を応用した創作過程を中心に—	林 正美	大阪芸術大学大学院
・「河合ダンス」からみる大阪モダニズムの諸相—西洋文化受容の観点から	芝田 江梨	大阪市立大学大学院
・コンタクト・インプロヴィゼーションにおける即興の考え方	福本まあや	お茶の水女子大学大学院